

J A R L

# 香川クラブ報

No. 286 平成8年8月15日



J A 5 Y D E

## クラブミーティングのご案内

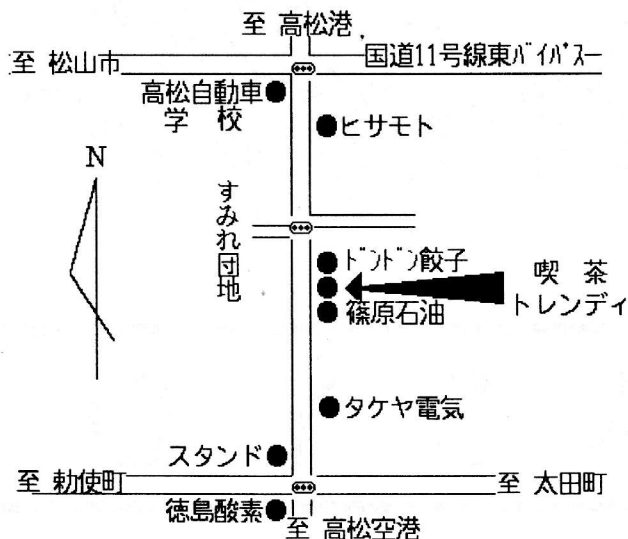
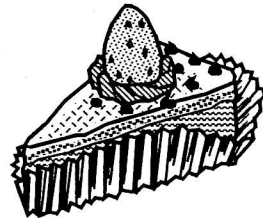
立秋も過ぎ、暦の上では秋とは言え、まだまだ暑さは厳しいですね。  
また、伝染病にまで指定された「病原性大腸菌O157」の問題もまだ解決しておらず、  
食事もおちおち安心して食べられないなんて困ったことです。  
テレビに目をやると、阪神甲子園球場では「夏の全国高校野球」が開催されています。  
つい先日終わったばかりの「アトランタオリンピック」では目をしばつかせながら、毎日  
世界最高の競技を観戦し、また日本人選手の応援をしていたのですが、またしばらくテ  
レビ観戦の毎日になりそうです。  
地元香川県代表校として「高松商業高校」が参加しており、このクラブ報が届く頃に丁度  
第1回戦をおこなっているかも知れません。ぜひ頑張って2回戦に駒を進めて欲しい  
ですね。久しぶりの「高商旋風」を巻き起こして欲しいと思っています。  
さて、クラブミーティングを下記のとおり開催いたします。  
今年度からスタートした、JARL香川クラブ結成50周年記念準備委員会も併せて行います  
ので、いろいろご意見をお聞かせ下さい。  
クラブの活動を活性するためにも、ぜひたくさんの会員の参加をお願いいたします。

### 記

日 時：平成8年9月19日(木) 19:30から

場 所：喫茶トレンディ （下図参照）

- 議 題：1.移動運用について  
2.クラブ結成50周年記念事業について  
3.その他

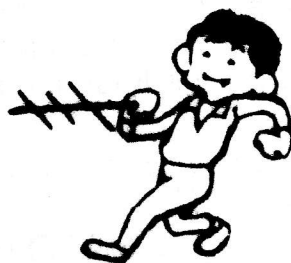


## ARDF 四国地方大会の案内

JARL四国地方本部主催で「ARDF四国地方大会」が下記のとおり開催されます。

この大会は全日本大会につながる地方大会で、四国に在住していれば誰でも参加できます。特に何の資格も必要ありません(無線従事者資格も不要)ので奮って参加しましょう。

今年の全日本大会は10月6日(日)秋田県大館市(JARL NE WS8月号26ページ参照)で開催されることに決定しています。(昨年は、クラブから5名参加資格を取得)



日 時：9月15日(日)受付09:00～雨天決行

場 所：愛媛県今治市周辺(参加申込者には追って集合場所が通知される)

参 加 費：1,000円(障害保険含む)

申込方法：8月31日までに氏名(フリガナ付記)・コールサイン(ある人のみ)・生年月日・住所・電話番号・参加クラス・返信用封筒(80円切手貼付)・弁当(1,000円)が必要ならそれも明記して郵送で、〒790 松山市大手町2-9-4 石丸ビル JARL四国地方事務局に申し込んで下さい。

## 非常通信訓練について

昨年、日本中いや世界中を震撼させた阪神淡路大震災は、まだ皆さんの記憶の中に鮮明に焼き付いていることだろうと思います。また、いつまでもあの時の記憶を風化させてはならないと思いますね。それ以外でも奥尻沖大地震、雲仙普賢岳の大噴火等、近年日本で起きた災害だけ取ってみても、大自然の猛威の前に人間はなすすべがありません。

そこで、各地で通信網の整備をはかると共に、今までおざなりであった通信訓練の大切さを再認識し、しかもお役所仕事の典型である縦割り方式でなく、横の連絡すなわち、他の通信とも一緒にやろうと努力しているようです。

香川県においても「香川地区非常無線通信協議会」(いつからあったものか知らないが)なるものが中心となり、訓練をしているようです。

「阪神淡路大震災」がきっかけではないらしいが、アマチュア無線にも協力して欲しいと言うことで昨年から「JARL香川県支部」として参加しています。

昨年は、9月3日に他の通信と切り離してアマチュア無線独自で訓練をおこない、JARL香川クラブは香川県の中核「香川県庁」において通信担当として協力しました。

今年は、昨年のようにアマチュア無線だけで独自に訓練するのではなく、他の通信と一緒に9月1日(日)に開催されることに決まっています。

まだ具体的な話等はありませんが、協力の依頼が来ましたらできる限りの協力はしていきたいと思っています。おざなりの訓練とならないよう、また意義ある訓練とし有事の際に「やっぱり訓練していて良かった」と言えるようにして欲しいと思っています。

## JARL香川クラブ結成50周年記念アワード完成

JARL香川クラブでは、平成10年10月をもちましてクラブ結成50周年を向かえます。そこで、記念アワードを下記のとおり発行いたしますので、PRをよろしくお願いいたしますと同時に、下記規約に従い奮ってアワードを取得して下さい。

### JARL香川クラブ (JA5YDE) 結成50周年記念アワード規約

JARL香川クラブでは、平成10年10月をもちましてクラブ結成50周年を向かえます。そこで、記念アワードを下記のとおり発行いたします。

#### アワード規約

種 類 = 香川県収集

発行者 = JARL香川クラブ(JA5YDE)

ルール = ①+②のQSLカードの合計11枚を得る。

①香川県内で開催されたJARL特設局発行のQSL . . . 1枚

②香川県内局発行のQSLカードを得、そのコールサイン  
に含まれる任意の符号でKAGAWA CLUBと綴る。 . . . 10枚

申 請 = (1) 500枚限定発行

申請受付開始は平成9年1月1日から

(2) JARL制定のアワード申請書又はこれに準ずる申請書+600円  
(600円の申請料は無記名の定額小為替でお願いします)

(3) 申請先 [REDACTED]  
山口博司様方 「記念アワード」係

参 考 = (1) ルールの内、香川県内で開催されたJARL特設局は(平成8年12月31日現在)下記の6局です。

(8J5SUN・8J5WCY・8J5XPO・8J5ITU・8J5NSF・JA5RL)

(2) 次の場合は、いずれのQSLカードにも代用できるものとします。

・JARL香川クラブが発行した任意のQSLカード

・JARL香川クラブ結成50周年記念のQSLカード

(3) 1948年10月以降の交信有効で、周波数・電波形式については、希望する特記を認めます。

(4) 当アワードに関するお問い合わせは、SASEにてお願いします。

アワード発行責任者 JARL香川クラブ 会長 JA5AHM 天野 英弘  
(JA5YDE) [REDACTED]





空から海から香川から

Date. \_\_\_\_\_

Call sign. \_\_\_\_\_

Name. \_\_\_\_\_

No. \_\_\_\_\_

Special mention

貴局は、優れた運用技術と努力により、JARL香川クラブ結成50周年記念アワードを完成されましたので、これを賞します。



|          |           |
|----------|-----------|
| 1948年10月 | 香川クラブ結成   |
| 1967年 7月 | JA5YDE開局  |
| 1998年10月 | クラブ結成50周年 |



社団法人 日本アマチュア無線連盟 香川クラブ

**JA5YDE**  
会長 天野英弘  
(JA5AHM)





# フィールドミーティングの一日

de JE5PBO

去る7月7日の日曜日、公湖森林公園のトンボ休憩所において、年1回の恒例行事であるフィールドミーティングの焼肉パーティーを開催しました。

前日からの雨が引き続き、当日も朝から雨が降っていました。始めるまでは「室内ででもやろうか」と言うことになっていましたが、参加メンバーの日頃の行いが良かったのか？焼肉などの準備しようとしていたら雨が上がり、室外で開催出来ました。

毎年恒例の行事だけに準備段階から手際も良く、お昼頃にはそれぞれビールやジュースを片手に焼肉の「争奪合戦」が始まり、楽しい一時を過ごしました。

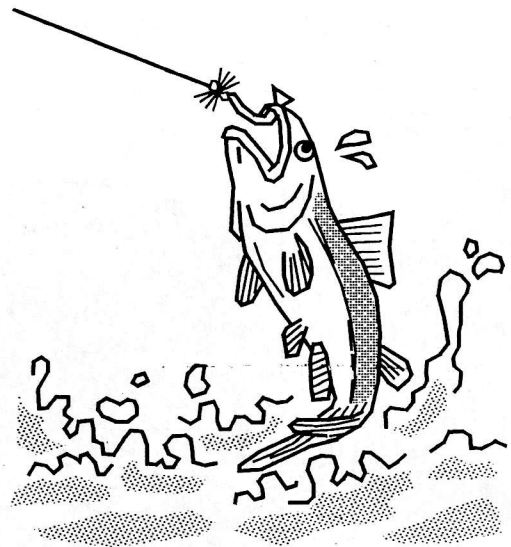
お腹も満たされてきた頃から散歩に行く者、寝る者、釣りに行く者等、それぞれお昼の一時をすごしました。

3時頃、また雲行きが怪しくなりはじめ、かたづけ、撤収となりました。

帰路につく頃になり再び雨が降りだし、やはり日頃の行いの良さ？と改めて感じました。

今回のフィールドミーティングは参加者が少なく、予定していました「移動運用」はアンテナ等の設営や運用者が無く中止となり、ローカル各局にはご迷惑を掛けました。来年はクラブ設立50周年の前年にもなり、県内外にもPRを兼ね、大勢の方に参加をして頂き、盛大に出来るようにしたいものです。

最後に、釣りに行ってルアーを無くした浩平君、来年は是非バスを釣ってみんなに自慢しようね。



## <高松市文化協会>

JARL香川クラブが所属している高松市趣味協会の上部組織である「高松市文化協会」(〒760 高松市中央町5-28 青井ビル4F TEL0878-34-6700)の役員改選がおこなわれ、クラブから下記の方々が新役員に選任されました。任期は2年です。皆様のご協力をお願いします。

|       |        |      |
|-------|--------|------|
| 副理事長  | JA5AHM | 天野英弘 |
| 事務局次長 | JH5LYW | 三好伸幸 |

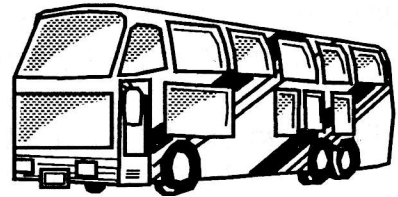
なお、第23回市民文化祭が9月19日から12月7日まで高松市内各イベント会場で開催されます。来年は国民文化祭が香川県で開催されることになっていますので、本年はプレ国民文化祭として充実したものになっているようです。

詳細については上記役員又は文化協会の方にお問い合わせ下さい。

## いよっ！ 日本一

今年の始め頃だったろうか。JA5TOP平賀OMから「JA5UY・JA5IQD両局の還暦を記念して富士山に登る案が出ているので一緒に行かないか」との話があった。「一度日本一の山に登ってみるのも良いなぁ」と思い一緒に参加させてもらうことにした。

参加者はJARL香川クラブからJA5UY・JA5IQD・JA5MIK・JA5TOP・JH5GTO・JH5GTO-2ND・JR5VKZ・JE5GOA・JE5IKWと私を含め総勢16名となった。



数日前から台風6号が日本に接近しており、お天気が唯一の心配であったが、果たして前日になって九州に上陸、雨が一段と強くなってきたが、当初の予定通りお天気の回復を祈りつついよいよ富士山に向かって出発した。バスの運転担当は4名(JA5MIK・JA5TOP・JA5LYUと私)。他は後ろで賑やかに騒ぎながら目的地に向かって走りだした。走行中もずっと雨は降り続けていたが、朝食予定の富士川サービスエリアでは曇ってはいるものの雨は上がっており、登山にわずかな望みがあった。お腹も一杯になったところで再度スタート。途中では富士山の頂上近くも見えており一同大喜びしたのだが、なんと到着寸前になって突如土砂降りの雨が降り出した。昼食を取りながら様子を見ていたが雨は一向に止む気配はない。天気予報を聞いても好転する気配はない。宿泊予定の9合5酌にある「むなつき山荘」に問い合わせても、「まだお客さんは誰も上がってきません」とのこと。そうこうしているうちに、越智OMの姿が見えないではないか。「先に登ったのだろう。とりあえず少し登ってみよう」と言うことになり、雨の中登山を開始した。新7合目まで登るも小学生もいるし、これ以上登るのは危険と判断し登山を断念することにした。越智OMはすでに8合目まで登っているという連絡が取れたので、我々は明日宿泊予定の「錦昌館」に連絡。何とかお願いして泊めてもらうことになった。今日はお風呂もなければ宿泊も山小屋と想像していただけに、温泉つき、あったかいお布団、そして何よりおいしいビールとご馳走に舌鼓をうち、登山が出来なかったことは悔やまれるものの皆大喜びである。

朝起きるとやはりかなり強い雨があいかわらず降っていた。ゆっくりとした朝食を取り旅館を後にした。まず富士の湧き水の代表「柿田川出水」を見学。手を浸けると「冷たい」。じっと手を浸けていると痺れてくるほどの温度である。噴水状に湧き出ている出水に感嘆したり記念写真を撮ったりした。次はかつては鬼も恐れたという「箱根の関所」に移動し、それぞれ観光を楽しんだ。

当初よりJR5VKZ平賀さんと友人の2人がJRで九州へ帰ることになっていたもので、三島駅に送らなければならないし、越智OMとの合流時間も迫ってきたので、観光は後回しにし移動することにした。2人を見送り、越智OMとの合流場所である御殿場口5合目に向かおうとしたのだが、お天気の方はすっかり回復して富士山の頂上まではっきり見えるようになってきた。

「黙って帰るのもしゃくだなぁ。でも他の人もいるし登山用の服も昨日の雨ですっかり濡れて着替えもないだろうし、今更登ろうとも言いづらいなぁ」と思っていると、突如長尾OMが「もし、みんなが許してくれるなら一人ででも富士さんに登りたいんだけど」と言い出したのである。

富士山に登りたいと言い出したもともとは、長尾OMと越智OMのの還暦を記念してと言うことだったので、一同異存はないのだが。

協議の結果、登山グループ(JA5 UY・JH5JAX・JH5SKUと私の4人)と観光グループに別れ、21日のお昼に富士宮新5合目で落ち合うことになった。

越智OMと合流し、全員で富士山をバックに記念写真を撮り、いよいよ登山を開始した。御殿場口は富士宮と違い、何もないので少し登ったところの”大石茶屋”で昼食をとることにした。食事をしながら、お店の人の話を聞くと「富士宮は標高が約2,500mだがここは1,550mしかない。でもここからの登山が本当の富士登山だよ」とのこと。心細くなったが今更取りやめるわけにもいかないし「頑張って行こう」と立ち上がった。突如「次郎坊小屋まで送ってあげようか。今日中に少しは上まで登れるよ」とお店の人の声。「本当ですか？」渡りに船とはこのことで約1時間は短縮できる。好意に甘えることにし、ジープに乗せていただき出発した。途中で富士登山駅伝の練習している人を追い越した。

次郎坊小屋で降ろしてもらい、いよいよ登山開始。雨上がりのため砂があまり締まっておらず、5歩も進んだら1歩位下がっているのだ。そうしながらそれでも1歩1歩前進していると、後ろから軽快な息を弾ませながら先ほどジープで追い越した駅伝練習の若者が走って登ってきた。歩くのもやっとのこの砂地を何と確実に走っているのである。あっと言う間に前方に走り去ってしまった。30分に10分位のペースで休憩をしながら登り続け、やっと7合目の休憩所にたどり着いたのが次郎坊小屋をスタートして3時間も立っていた。休憩所の青年は「今日上がってきたのはあなた方が初めてですよ」とのこと。30分程休憩させていただき再度登り始めた。今度は1時間もしないうちに7合4酌の休憩所にたどり着いた。そこでは80歳を過ぎているというお爺さんと話すことが出来た。「よう登ってきたもんだ。3時間半ぐらいで登ってきたって？そりゃ大したもんじゃ。富士山は何回目かな？初めてじゃと？しかも昨日は7合目まで登ったって？ここのコースを登ってきたあんたらは本当の登山家に匹敵するよ。ここ以外から登ったんでは本当に富士山に登ったとは言えんのじゃ。あんたらはすごい。」長尾OMを指して「還暦とはすごい。まだまだ元気じゃのー」とそれはそれは褒めちぎっていただき、なにかお尻の当たりがこそばゆい感じになった。こちらこそこんなに高い所で一人で休憩所を営んでいるお爺さんに感心しているのに。あたりがだんだん薄暗くなり始め温度も下がってきた。白い影が少し窪んだ所に見えている。「もしかしたらあれが万年雪では」と皆が休憩している間に見に行った。悪いかなと思いながらも少し崩して持ち帰る。皆の所に引き返し、雪を手で記念写真を撮ったりした。空は今にも星が降り出すのではと感じるほどで、下界を見るとネオンや電灯それに車のヘッドライトがとてもきれいである。

「あと少しだから頑張って」突然上から声がした。”赤岩8合館”の女将さんである。やっとの思いで赤岩8合館に到着した。すでに何組か先客もいて、就寝している者もいるようである。食事をして床につくことにした。

うとうとしていたのだろうか、隣から突っかれて目を覚ますと2時である。あわてて飛び起き登山の準備に取りかかった。





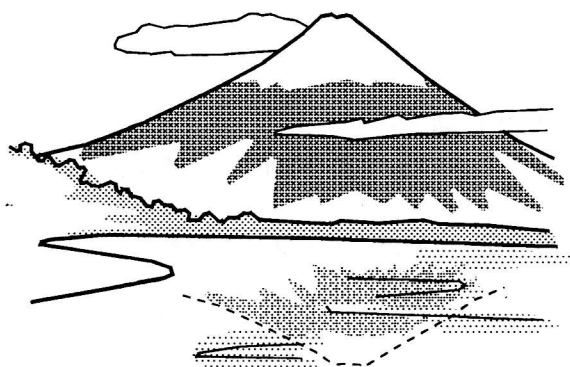
お天気は最高に良く、満天の星空と下界の人口の明かりを見ながら暗闇の中を頂上めざして歩き出した。歩きにくい。足下は昨日の砂地と違い、今度は石がごろごろ。へたに石の上に足を下ろそうものなら石が転がり足をくじきそうである。登山道の勾配も比べものにならないくらい急になってきた。

「だんだんと東の空が白み始め、また雲海も現れだした。」

4時15分頃、予定通り頂上に到着した。すでに大勢の人達が記念写真を撮ったりしながら「ご来光」を今や遅しと待っている。4時42分「出たー」東の稜線からついに「ご来光」である。新名0Mから預かっていたウイスキーで乾杯し、記念写真を撮ったりした。

「やっぱり登って良かった」と一同大喜びである。折角だからお鉢めぐりもしようと移動を開始した。大勢の人がごった返し、俗化されてしまっていると言えなくもないが、まぎれもなく「今、日本で一番高いところを歩いているんだ」と思うと、とても言葉では言い表せないくらい良い気持ちである。

記念にとその辺りにある石ころを集めたり、山頂にしか売っていないと言うテレホンカードを買ったり、浅間大社でお参りしたりした。せめて半日ぐらいゆっくりしていたい、帰りの時間もあるので後ろ髪を引かれる思いで下山することにした。



「赤岩8合館」まで降りて朝食を取り、今度は登ってきた方でなく富士宮口に向かって下山を開始、途中で万年雪を保温用ポットに詰めたりしながら稜線を過ぎると、「あっ」と驚いた。御殿場口の方は登りも下りもほとんど人に会わなかったのに富士宮側にまわった途端、すれ違うのも窮屈なほどいるわいるわ、まるで蟻の行列である。

無事5合目まで下りると、ちょうど申し合わせたように観光グループも到着。せっかくだからと、家族にお土産を買ったりしてバスに乗り込んだ。

登山の話、観光の話それぞれ情報を交換しながら快調に帰路についた。

こうして、とても長かったように思えるし、でもたったの3日間の富士山登山ツアーを終えたのである。機会があればまたチャレンジしたいとも思っている。

JH5LYW

編集後記



今日この原稿を書いていたら、また宮城県の方で震度5の大揺れが数回続いたとのこと。

非常通信訓練の関連記事を書いていたときだけに「ドキッ」とした。地割れがしたりして幾らか被害が出ているようであるが「奥尻沖地震」や「阪神淡路大震災」のことがあるので、とても心配である。大したこと無ければいいのだが。

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは、新入会員を募集しています。  
平成10年にクラブ創立50周年を迎えますが、たぶんに漏れず  
高齢化が進んでおります。新入会員募集にご協力下さい。

1. JARL香川クラブでは、会員名簿をお送りしておりますが、クラブ名簿に誤りがあったり、漏れている場合はお手数ですが下記まで連絡下さい。  
特に、家族会員が掌握しきれておりませんのでよろしくお願いします。
2. JARL香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしておりますが、無線局免許状に変更があった方は、その都度お知らせ下さいますようお願いいたします。

\*\*\*連絡先 JH5WMN 山口博司方

\*\*\*

前年度までの会費が未納の方は早急に納入して下さい。  
なお、平成8年度会費についても早急に納入下さいますようお願いいたします。

\*\*\* 会費納入口座

JARL香川クラブ \*\*\*

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

|        |        |           |
|--------|--------|-----------|
| 発行責任者  | JA5AHM | 天 野 英 弘   |
| 編 集 者  | JA5TFJ | 横 田 寿 夫   |
| //     | JH5LYW | 三 好 伸 幸   |
| //     | JH5WMN | 山 口 博 司   |
| //     | JR5GLO | 谷 本 清 司   |
| 連絡事務所  |        | 天 野 英 弘 方 |
| 郵便振替口座 |        | JARL香川クラブ |